

令和6年度 第2回 学校運営協議会 会議録（要点記録）

1. 開催日時 2024年7月9日（火） 13時30分から15時30分
2. 開催場所 天竜中学校2階被服室
3. 出席委員 米山英二、齋藤 誠、鈴木滋芳、鈴木景子、中村まゆみ
（敬称略） 匂坂典男、伊藤武司、高橋靖博、伊藤太一（CSコーディネーター）
4. 欠席委員 なし
5. 学 校 野秋愛美（校長）、山城百孝（教頭）、鈴木美音子（主幹教諭）
増田直由（2年学年主任）、長谷川翔（生徒指導主事）
佐野正已（校務アシスタント/CSディレクター）
6. オブザーバー 西澤幸次郎（天竜協働センター長）
7. 傍聴者 なし
8. 会議録作成者 CSディレクター 佐野正已
9. 議長の選出
司会（山城教頭）より議長希望者を委員各位に募るも立候補はなかったが、米山委員から鈴木滋芳さん推薦の提案があり全委員了承でお願いすることとした。
10. 協議事項 (1) 生徒の様子について（授業参観を通じて）
(2) 職場体験 2年学年主任
(3) いじめアンケートの結果より 生徒指導主事
(4) 学校部活動の地域移行について 教頭
(5) 今後の校則の見直しについて 生徒会長
その他 (1) 学習・生活アンケート項目
(2) 生徒のボランティア活動参加について
(3) さくら並木の保全活動（桜の植樹）
(4) 今後の予定
11. 会議記録
委員総数9人の出席があり、過半数に達していることから会議は成立とした。

協議事項

- (1) 生徒の様子について（授業参観を通じて）
 - ・1年生は中学生になって3か月しか経っていないが、大分たくましくなっていてずいぶん成長したなと感じた。（米山委員）
 - ・どのクラスも静かで集中して勉強しているのには感心した。（齋藤委員）
 - ・廊下に貼っている掲示物はきれいなので感心した。また英語の授業を英語で教えているのはいい。海外駐在の経験から英会話はブロークンでも構わない。要は自分の意志を相手に伝えるツールであることを教えてあげて欲しい。タブレットの使用もいい。男子が裁縫をしているのもいいと思った。（伊藤太委員）
- 今は男女とも家庭科・技術科と一緒に学んでいる。（野秋校長）
 - ・昨年までは道德の授業だったが、今年は通常の教科だったので、先生ごとにいろいろ工夫しているのが見えて大変よかった。（匂坂委員）
 - ・クラスの掲示板は各々個性が出ていて良かった。先生の似顔絵があったりして小学校でやっていたような掲示内容を中学校でもやっていることに少し感激した。（高橋委員）

- ・夏場の授業なのに眠っている子もいなくてすばらしい。国語の授業もタブレットを使っていてこれもすごい。今は昔の授業風景から変わってきているなど感じた。（鈴木景委員）
- ・南校舎の8組、9組の様子を見てきたが教室もきれいに飾りつけがしてあり明るい雰囲気になっていていいなと感じた。（中村委員）
- ・玄関のミストの設備を見てきた。暑さの中大変良いと思った。（伊藤武委員）
- ・各クラスの廊下の掲示物が良い。1年生は声もよく出ていて楽しそうな授業だなと感じた。（西澤委員）

(2) 職場体験

○募集後すぐ反応していただき受け入れ事業所も昨年より増えている。当初1事業所に2～3名でお願いするつもりであったが、2名に減らしても良い状況。また1次産業の漁業について舞阪漁港と会話したが、11月は漁獲量が少ない時期とのことだったので別の機会にと考えている（増田2年学年主任）

(3) いじめアンケートの結果

○アンケートを回収して29件をいじめと認知したが、そのうちの22件を課題ありとした。「いじめの見逃しをゼロにする。」「いじめを重大化させない。」を目指している。2学期はP15のように紙でのアンケートでおこなう。自宅で記入して翌日回収する。

（長谷川生徒指導主事）

- ・朝、道に立っていると声を出して深々とおじぎをして挨拶してくれる子がいる。とてもさわやかで気持ちがいい。（米山委員）
 - ・P15の学校生活アンケートについて生徒だけでなく、親の気づきも確認できたらと思うが、（齋藤委員）
 - ・旗振りの時、中学生が挨拶してくれると小学生とは違った意味でうれしい。（高橋委員）
 - ・SNSは今の時代では大きな問題点だ。（齋藤委員）
 - ・いじめは人によって受け止め方は違うので難しい問題だと思う。（鈴木滋委員）
 - ・自分の子供もスマホをやっているが、やっている中身が見えないので不安だ。（高橋委員）
 - ・学校ではどうやって教えているのか？（鈴木滋委員）
- 1学期に講習会をしている。（長谷川生徒指導主事）
- ・学校ではスマホはさわれないが、自宅ではLINE等をしている。文字で表現しているので学校での会話と違って相手に間違えてとらえられてしまうといじめになったりするので不安だ。（匂坂委員）

(4) 学校部活動の地域移行について

○6月10日、部活動指導に参加可能な方々33名（本年1月に調査）を対象に説明会を開き、10名の方々が参加してくれた。このうち3名はすでに部活動の指導をしてくれている。

この時の内容については後日文書で来られなかった方々にお知らせした。（山城教頭）

→（補足）令和8年の9月から地域に移行していくことになるが、その時の名称は「地域クラブ」となっている。平日は学校で見るが、休日は地域の人や民間のスポーツクラブ、NPO法人等が運営主体となっていく。また教員もやっていいことになる場合は兼職兼業の申請が必要で、認められる条件などは決まっていない。地域クラブが発足できない場合、一時的に部活動指導員（会計年度職員扱い）が指導しても良いことになるようだが、指導員の

いないところでは休日は学校部活動はできないことになる。こうした内容は今後自治会の会合で地域の皆さんに説明していきたい。（野秋校長）

- ・女子ソフトで与進中や笠井中は運営資金捻出のため、ユニホームに企業名を入れて宣伝をしてその見返りに活動資金を得ようとの動向を聞いたが、公立中学校でそういうことができるのか？（米山委員）
- ・地域に移行した時にけが等発生した時の対応も考えておく必要がある。今のところ決まっていないこともいろいろあるが、従来のように教員にも入ってもらっての運営も認められたら良いと思う。（鈴木滋委員）
- ・部活を指導したくて先生になった人もいるはずで、これまでと同様指導できるようになるように見守ってあげたい。（伊藤武委員）
- ・部活は技能だけ教えれば良いというものでもないから、そうした意味で指導者は大事。（米山委員）

（5）今後の校則の見直しについて

- 現在生徒会を中心にくつやくつ下の色について校則の見直しを進めている。変える必要はないとの意見もあるが、全校生徒にアンケートを取って意見を集約して、校則見直しにつなげたい。（小枝生徒会会長）
- ・親としては華美な色でなければ良いのではと思っている。白、黒、青、グレーあたりなら良いのでは？（鈴木景委員）

その他報告事項

（1）学習・生活アンケート項目

- P20 と P21 に掲載したが、学習と生活と保護者のアンケートを実施する。生活アンケートと保護者アンケートでは先ほど指摘のあったスマホや SNS について少し踏み込んだ表現で確認している。（鈴木主幹）

（2）生徒のボランティア活動参加について

- P23 にボランティアの参加状況をまとめた。サマーフェスタ篠ヶ瀬では募集人員 30 名に対して応募者が募集人員を上回ったので今回は 2～3 年生だけとしたが、希望者は 66 名になった。（山城教頭）

（3）さくら並木の保全活動

- P24 令和 4 年度に 3 本、令和 5 年度に 5 本植樹した。保全活動は今後も継続していく。（山城教頭）

（4）今後の予定

次回の開催は 11 月 18 日（月）15：00～17：30 とした。